

# うるるん 滞在記

・保護者通信から・

## KIS第二期留学生奮闘記

ー麗しのヴィセイセイ村ホームステイプログラムー

2014年1月、KISは、南太平洋の斐济共和国のSangam SKM Collegeと交流協定を締結。このSSKMCは1958年に設立、インド系生徒が多い伝統名門校。斐济は1970年に英国から独立、人口約83万人、面積は四国とほぼ同じ大きさ。温暖な気候と豊かな自然環境、人情厚く、平和な国で、南太平洋の楽園と呼ばれる島国です。と同時に、南太平洋の国々で構成される国際機関や、南太平洋州立大学(USP)が設置される南太平洋地域の“ハブ国家”。

昨年度、佐藤英優子さん、安原亜海砂さん、野村透生くんの3名が、第一期長期留学生としてSSKMCに一年間の留学へ。そして今年度、北原実樹さん、文世奈さん、林昌澍くんの3名が、第二期生として現在留学中。彼らは、現地の生徒たちと同様に通常クラスに編入、正規のカリキュラムに沿って学んでいます。

今年度夏期休暇中、池田大介教諭の引率の下、現在斐济留学中の林昌澍くん、文世奈さん、北原実樹さんの3名が、約二週間の休暇を利用し、最初の斐济の先祖が上陸したとされる、最も権威のある村、ビセイセイ村に滞在。その歴史・文化を体感するとともに、留学中に伸ばした英語力を実践的に活用するプログラムに参加。

以下は、引率責任者の池田教諭による、期間中、保護者向けにほぼ毎日のサイクルで発行された『News Letter』から記事を抜粋。活き活きとした、まさに“留学真っ最中”的KIS留学生3名の“泣き笑い奮闘記”をお届けします♪



こっちのもの。友達にすぐなれますよ。僕が言語の伸びが抜群だとか言わされているようですが、僕は僕なりに苦労もしてますし、工夫もしているんですよ。「英語が伸びるコツは?」って聞かれても、自分自身が開発したこういう工夫がなくちゃ、その他の人のコツなんてわかりませんよ。』

池田、思わず黙つて聞いてしまいました。昌澍、おまえの言う通りだよ。君の苦労を知らずして、結果だけを求める、教師を、池田をゆるしてくれ!それをそばで聞いていたMICKYとSENA:だから、斐济国家を歌おうと言った時、君達はいつたん引きながらも、唱和してくれたのは、その留学の仲間、の先見と知恵に、賛同

保護者のみなさん、「心配をおかけします。僕が言語の伸びが抜群だとか言わされているようですが、僕は僕なりに苦労もしてますし、工夫もしているんですよ。「英語が伸びるコツは?」って聞かれても、自分自身が開発したこういう工夫がなくちゃ、その他の人のコツなんてわかりませんよ。』

池田、思わず黙つて聞いてしまいました。昌澍、おまえの言う通りだよ。君の苦労を知らずして、結果だけを求める、教師を、池田をゆるしてくれ!それをそばで聞いていたMICKYとSENA:だから、斐济国家を歌おうと言った時、君達はいつたん引きながらも、唱和してくれたのは、その留学の仲間、の先見と知恵に、賛同

留学で得られるもの、  
それは…“度胸”!?

十代特有の、男子vs女子の構造は、きっとあなた達の間にもあるのですよが:「誰(だれ)」ではなく「何(なに)」に着目すれば、自ずと道は開けるもの。それを「甘んじて」受け容れるのこそが、「勇気」と先生は思うのですが(笑):いかが?君達の実践力に、教師、素直に脱帽。

したからでしょ。

突然入ってきた店のスタッフに抱きつかれたということもあったのですが、池田、その時ほど怒つたことはなかつたですね、ショップにツーリストボリスを連れて行き、そいつは逮捕してやりました。これもエジプトでのお話。さらに、スクールバスを運転してフランスのパリへバスケの遠征に行つた時は、ひどい捻挫の生徒(確かにイタリア人のマリアという生徒だったかな)を病院へ。そうそう。スイス・ルツェルンへスキー研修に生徒引率した際は、日本人の生徒(奈良出身のF君)がゴンドラから落ち、腰椎を傷め緊急手術という事態。日本の親と協議して、親の委任を受け、緊急手術6時間(背骨に6本のメタル製ピン!)は、地元の病院ででつかい注射を打ち、歩きまわって、アホなことに悪化させてしまいましたので。今回は万全の態勢で臨み、もうバツチリ(笑)。今まで生徒を引率し、不測の事態に陥つたことも一度や二度ではありません。エジプト→スーダンに計6ヶ国の生徒を引率した際は、脱水症状をおこしかけた生徒を病院へ。旅程を変更、ネフェルティティだったかな、その葬祭殿をキャンセルし、アメリカ人の保護者に「契約違反」とボロカス言われたことも。また、日本人の女子生徒(京都府出身のFさん)が、試着室に

突然入ってきた店のスタッフに抱きつかれたということもあったのですが、池田、その時ほど怒つたことはなかつたですね、ショップにツーリストボリスを連れて行き、そいつは逮捕してやりました。これもエジプトでのお話。さらに、スクールバスを運転してフランスのパリへバスケの遠征に行つた時は、ひどい捻挫の生徒(確かにイタリア人のマリアという生徒だったかな)を病院へ。そうそう。スイス・ルツェルンへスキー研修に生徒引率した際は、日本人の生徒(奈良出身のF君)がゴンドラから落ち、腰椎を傷め緊急手術という事態。日本の親と協議して、親の委任を受け、緊急手術6時間(背骨に6本のメタル製ピン!)は、地元の病院ででつかい注射を打ち、歩きまわって、アホなことに悪化させてしまいましたので。今回は万全の態勢で臨み、もうバツチリ(笑)。今まで生徒を引率し、不測の事態に陥つたことも一度や二度ではありません。エジプト→スーダンに計6ヶ国の生徒を引率した際は、脱水症状をおこしかけた生徒を病院へ。旅程を変更、ネフェルティティだったかな、その葬祭殿をキャンセルし、アメリカ人の保護者に「契約違反」とボロカス言われたことも。また、日本人の女子生徒(京都府出身のFさん)が、試着室に

突然入ってきた店のスタッフに抱きつかれたということもあったのですが、池田、その時ほど怒つたことはなかつたですね、ショップにツーリストボリスを連れて行き、そいつは逮捕してやりました。これもエジプトでのお話。さらに、スクールバスを運転してフランスのパリへバスケの遠征に行つた時は、ひどい捻挫の生徒(確かにイタリア人のマリアという生徒だったかな)を病院へ。そうそう。スイス・ルツェルンへスキー研修に生徒引率した際は、日本人の生徒(奈良出身のF君)がゴンドラから落ち、腰椎を傷め緊急手術という事態。日本の親と協議して、親の委任を受け、緊急手術6時間(背骨に6本のメタル製ピン!)は、地元の病院ででつかい注射を打ち、歩きまわって、アホなことに悪化させてしまいましたので。今回は万全の態勢で臨み、もうバツチリ(笑)。今まで生徒を引率し、不測の事態に陥つたことも一度や二度ではありません。エジプト→スーダンに計6ヶ国の生徒を引率した際は、脱水症状をおこしかけた生徒を病院へ。旅程を変更、ネフェルティティだったかな、その葬祭殿をキャンセルし、アメリカ人の保護者に「契約違反」とボロカス言われたことも。また、日本人の女子生徒(京都府出身のFさん)が、試着室に

突然入ってきた店のスタッフに抱きつかれたということもあったのですが、池田、その時ほど怒つたことはなかつたですね、ショップにツーリストボリスを連れて行き、そいつは逮捕してやりました。これもエジプトでのお話。さらに、スクールバスを運転してフランスのパリへバスケの遠征に行つた時は、ひどい捻挫の生徒(確かにイタリア人のマリアという生徒だったかな)を病院へ。そうそう。スイス・ルツェルンへスキー研修に生徒引率した際は、日本人の生徒(奈良出身のF君)がゴンドラから落ち、腰椎を傷め緊急手術という事態。日本の親と協議して、親の委任を受け、緊急手術6時間(背骨に6本のメタル製ピン!)は、地元の病院ででつかい注射を打ち、歩きまわって、アホなことに悪化させてしまいましたので。今回は万全の態勢で臨み、もうバツチリ(笑)。今まで生徒を引率し、不測の事態に陥つたことも一度や二度ではありません。エジプト→スーダンに計6ヶ国の生徒を引率した際は、脱水症状をおこしかけた生徒を病院へ。旅程を変更、ネフェルティティだったかな、その葬祭殿をキャンセルし、アメリカ人の保護者に「契約違反」とボロカス言われたことも。また、日本人の女子生徒(京都府出身のFさん)が、試着室に

突然入ってきた店のスタッフに抱きつかれたということもあったのですが、池田、その時ほど怒つたことはなかつたですね、ショップにツーリストボリスを連れて行き、そいつは逮捕してやりました。これもエジプトでのお話。さらに、スクールバスを運転してフランスのパリへバスケの遠征に行つた時は、ひどい捻挫の生徒(確かにイタリア人のマリアという生徒だったかな)を病院へ。そうそう。スイス・ルツェルンへスキー研修に生徒引率した際は、日本人の生徒(奈良出身のF君)がゴンドラから落ち、腰椎を傷め緊急手術という事態。日本の親と協議して、親の委任を受け、緊急手術6時間(背骨に6本のメタル製ピン!)は、地元の病院ででつかい注射を打ち、歩きまわって、アホなことに悪化させてしまいましたので。今回は万全の態勢で臨み、もうバツチリ(笑)。今まで生徒を引率し、不測の事態に陥つたことも一度や二度ではありません。エジプト→スーダンに計6ヶ国の生徒を引率した際は、脱水症状をおこしかけた生徒を病院へ。旅程を変更、ネフェルティティだったかな、その葬祭殿をキャンセルし、アメリカ人の保護者に「契約違反」とボロカス言われたことも。また、日本人の女子生徒(京都府出身のFさん)が、試着室に

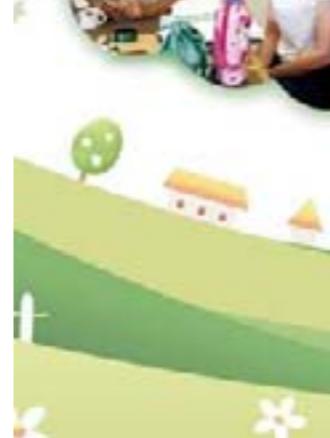
突然入ってきた店のスタッフに抱きつかれたということもあったのですが、池田、その時ほど怒つたことはなかつたですね、ショップにツーリストボリスを連れて行き、そいつは逮捕してやりました。これもエジプトでのお話。さらに、スクールバスを運転してフランスのパリへバスケの遠征に行つた時は、ひどい捻挫の生徒(確かにイタリア人のマリアという生徒だったかな)を病院へ。そうそう。スイス・ルツェルンへスキー研修に生徒引率した際は、日本人の生徒(奈良出身のF君)がゴンドラから落ち、腰椎を傷め緊急手術という事態。日本の親と協議して、親の委任を受け、緊急手術6時間(背骨に6本のメタル製ピン!)は、地元の病院ででつかい注射を打ち、歩きまわって、アホなことに悪化させてしまいましたので。今回は万全の態勢で臨み、もうバツチリ(笑)。今まで生徒を引率し、不測の事態に陥つたことも一度や二度ではありません。エジプト→スーダンに計6ヶ国の生徒を引率した際は、脱水症状をおこしかけた生徒を病院へ。旅程を変更、ネフェルティティだったかな、その葬祭殿をキャンセルし、アメリカ人の保護者に「契約違反」とボロカス言われたことも。また、日本人の女子生徒(京都府出身のFさん)が、試着室に





今年度、KISの高等部3年の選択プログラムとして始まった「自己探求」の時間。1学期までは哲学対話やマルチプル・インテリジェンス（多重性知能）、ZICO（非暴力コミュニケーション）やアドベントチャーパログラムなど、わがままな理論・手法を応用した体験的な学びを積み重ね、学びを深める中で自分と他者を知つたり、学びの土台となる良好な関係をつくったりすることに力を入れてきました。そして、今学期からは、いよいよ自分の中の深い部分にフォーカスしていく学習に向かい始めました。

「①自分が心の底から望むこと、②自分が本当に大切にしたいこと・価値観を見つめ直すために、自分とは違う生活・学びをしている人たちと会おう！」と呼びかけ、まずは子どもたちがリアルタイムで行き先を決めていくフィールドワークに出かけました。出かけた先では、近所の駄菓子屋さんが3代も続いていること、そのお店が便利になる世の中の流れによって、店仕舞いになろうとしていること、などを知りました。普段何気なく通り過ぎている場所にも、そこに生きる人のそれぞれのドラマがあることに気付きました。



いくプロジェクトに取り組んでいく予定です。

今回は、2回の訪問とともに教員2名が引率し、お互いの学校運営や授業づくりなどについて意見交換することができました。両校は車で10分という大変近い立地にあります。今後この授業に限らず、学生・教員共々さまざまな場面で交流を深め、お互いに刺激し合い、学び合える関係を築いていくことで、この茨木・箕面の地から更なる越境人たちが巣立っていくことを期待します。

（文・保健／体育担当 濱大輔）



定されており、両校の理念は共通する点が非常に多くあるため、交流の話はあつという間に決まり、先日までに2回の訪問を終えました。

箕面こどもの森学園は、子どもたちが自分で時間割を決めたり、民主的な対話を通して学校運営をしたり、必要なルールを決めたりするところが特徴の学校です。そこで、やりたいことに没頭することの森の小学部の子たちに接して、「人として本当に大切なことが、大事にされているところだと心の底から思った。」と語ったのは女子学生。また、こどもの森学園で共有され、大事にされているビジョンを表現したイラストを見て「(+)にコリヤ国際学園の田指す理想の一つがあると思います。」と男子学生。（ちなみに）このイラストの中には「越境」という言葉もありました。KISの理念が影響を与えていました。そこで、「小野原なら、箕面こどもの森学園があるよ。」と言つてみたところ、「行ってみたい！」と子どもたち。箕面こどもの森学園は認定NPO法人が運営するフレネ教育の考え方と方法を取り入れたオルタナティブスクールであり、2015年にESD（持続可能な開発のための教育）を推進するユネスコスクールにも認定されています。KISは2012年にユネスコスクールに認定されました。みんなで輪になつて座

その後KISに戻り、「来週のフィールドワークはどこに行こう？」と子どもたちに聞いてみたところ、「箕面だったら、小野原方面に行つてみたい。」という声がありました。そこで、「小野原なら、箕面こどもの森学園があるよ。」と言つてみたところ、「行ってみたい！」と子どもたち。箕面こどもの森学園は認定NPO法人が運営するフレネ教育の考え方と方法を取り入れたオルタナティブスクールであり、2015年にESD（持続可能な開発のための教育）を推進するユネスコスクールにも認定されています。KISは2012年にユネスコスクールに認定されました。みんなで輪になつて座

り、お互いに聞いてみたいことをカードに書いては床に伏せておき、カルタのようにしてお互いに質問しました。「いまの学校に入つてよかったです」と思うところは?」という質問に、「KISでは他の学校では経験できない変わった授業がたくさんあります。例えば、この授業のように、社会つながりを持つ経験は他では得づらいと思うので、そんな時はKISに入つてよかったです、と思う。」  
「1学年1クラスで、中学部・高等部の全ての教室が同じフロアにあるのがKISの校舎の特徴。それもあってか、人のつながりがいかに大切かということを日々実感しています。」などと答え、KISのよさについても改めて見つめ、愛着を深めていくようでした。また、お互いに将来の進路を考える年頃でもあることから、「受験は大変ですか?」などと、素朴な疑問もありました。さらに、KISの学生からは「韓国、中国などアジアの近隣諸国についてどう思うか?」といったKISならではの質問もされたなど、実際に多様性に富んだ交流となりました。この交流で得た気づきを大切に、学生たちは残りの期間でさらに深く自分を探求して

2度目の訪問では、今秋に韓国へ研修旅行に出かける予定だという、子どもの森の中学部の子たちと交流しました。みんなで輪になつて座



## 高等部2年生 川原萌花

私は今年の夏、KISの生徒9名と他校の生徒との合同で、4日間、東北へボランティア活動に行きました。

皆さんは6年前の3月11日の出来事を覚えていらっしゃるですか？

私はこのボランティアに参加する前では、少し忘れていました。けれども、東北でたくさんの刺激を受け、改めて津波、震災の恐ろしさを実感しました。

このボランティアでは、大阪から東北まで約15時間かけてバスで行きました。到着してすぐに陸前高田市を視察しました。東日本大震災から6年経った今も、震災の爪痕が残っていました。ほんの数分での出来事がこんなに影響を及ぼすということを感じました。

震災で被害を受けた町を元通りにするには、多額なお金と時間がかかることも分かりました。実際に被災地に行つて作業現場を見てみると、復興のために開発された機械が何台もありましたが、今では半分以上の機械が使用されていませんでした。

たくさんの方々が被災地となり、国から派遣される人たちだけではなくて

も人手が足りず、復興するのは難しいと思いました。膨大な敷地を人手不足の中、道路の整備や様々な施設の建築を進めていくには、たくさんの人々の支援が必要だと実感しました。長い年月が経つた今でも復興のメドがたっていない現実も目の当たりにしました。メディアで見る被災地と実際に行つてみた被災地では、異なる点がたくさんありました。

今回のボランティア活動では、陸前高田の視察の他に、ウニの養殖のお手伝い、雑草抜き、植樹、ホームステイ、気仙沼高校との交流などを行いました。

ウニの養殖所では、まず、事業主の方から、震災から今までの過程を聞きました。ウニの養殖を営む方は東日本大震災によって自分の家、養殖場まで被害に遭い、何も無くなってしまったということがあります。けれども、先祖代々この地で養殖業を守つてきたこともあり、全国のボランティアの支援やご近所の助けにより、今ではウニ、牡蠣などの海産物が収穫できるようになつたらしくなります。その方は、たくさんの方々のボランティアのおかげで養殖を再開できました。

ウニの養殖を終えた後、山の雑草

抜きをしました。広い敷地だったのもあって、とても数人で終えることができない作業だと感じました。私たちが行った時は雑草が生い茂っていました。数時間雑草抜きをした後、私は、KISの生徒1名、他校の生徒2名と一緒にホームステイをしました。

ホストファミリーの方々はとても親切で、明るく私たちを出迎えてくれました。夕食には、東北の郷土料理を作つてくださいました。夕食にしても恐ろしいと思いました。ホームステイではとても良い出会い思い出しました。

最終日には気仙沼高校へ行きました。東北に行く前に4回ほど阪急茨木駅で募金活動を行つたので、集まつたお金を気仙沼高校に寄付しました。募金は大変でしたが、とてもやりがいがありました。

私は東北ボランティアに参じて、東日本大震災を忘れてはいけないと思いました。実際に現地へ行き支援することにより、現状を知ることができるとてもいい経験ができました。積極的にボランティアに参加することは大切だと思いました。



## 高等部1年生 大山もみじ

私が東北ボランティアに参加して最初に思った事は、大阪と景色が全く違うことでした。

三年前の中一の時にも一度行つたことがあって、三年前の姿とほとんど変わつていませんでした。そして、大阪みたいに賑やかな姿はなく、周りは仮設住宅や工事現場が少しあるだけでした。震災から時間は経つていますが、目に見えるほど復興したという感じは正直あまり感じませんでした。

最初に行つたところはカキの養殖場でした。気仙沼で唯一あるカキの養殖場を見学しましたが、唯一といだけカキの養殖も追いつかず、他



のカキ養殖場は津波で全て無くなつたと仰つていました。

カキの養殖場で直接見たカキは、そう簡単に出来るわけではなく、約2~3年がかりの長い年月をかけていることを、私は知りました。元々、養殖場を運営するところが少なくなつてきていて、震災にあつたせいでもっと養殖場が減つてしまい、困つていると仰つています。

その他にも道路周辺の伸び放題になつた雑草を処理したり、「道の駅」陸前松原で津波がどれほど来ていたのかを証明するテープが張られてしているのを見ました。その「道の駅」は14~15メートルの津波が来てしまったということです。そこで現在は、陸前松原が実際にどんな状況だったのかを皆に教えるため震災遺構になっています。

私が一番衝撃的だった事は「道の駅」陸前松原の中でした。中は原型

の患者さんで他の患者さん達は浸水に乗ることができないまま亡くなつてしまつたと仰つていました。それは、命を預かる職業の人達からすると、より一層心の痛い体験だと思ひます。

奇跡の一本松は、高い津波を耐え一本だけ残つたと言う記録があることは、命を預かる職業の人達からすると、生き残つたりしていた木でもあります。奇跡の一本松と言われていますが、津波の塩水で木が弱つてしまつたために1億5千万円をかけて修理したそうです。しかし、これに對しては住民の不満があり、修理に使つたお金の費用に使つてほしいと仰つてはいるとの事でした。

木を植える活動の時は、海の近くに木を植えて震災で無くなつた活気を戻そうと皆が頑張つていました。一人一本ずつ木を植えそれが終わる

と未来に繋がつていくのかなど思いました。

楽しかった気仙沼高校との交流は良い経験が沢山できました。お互いの意見を主張する環境問題の討論もありました。少ない時間で討論するには難しかつたけど、一人一人が自分の意見を持つていました。

一番交流の時に印象的だったのは、学生さんたちがこれからをどうしていくかをしつかり考えていたことです。私は気仙沼の人達がこんなにも苦労して復興を目指しているのを知らなかつたため、もつと日本の環境問題に関心を持とうと思いました。私にとって、この東北ボランティアは沢山の事を学んだ良い機会でした。

木を植える活動の時は、海の近くに木を植えて震災で無くなつた活気を戻そうと皆が頑張つていました。一人一本ずつ木を植えそれが終わると、班に分かれお花を植えました。私はこういう少しの事でもしていく



## 中学3年生、韓国へ修学旅行

台風の影響も無くなつた9月5日の朝、関西国際空港に集合した中等部3年生の一一行は、韓国の金海国際空港に向けて出発しました。

今回の修学旅行の目的は、韓国と日本、そして在日コリアンにとっての近現代史を学ぶことでした。

釜山に着いた一行は、まず韓国（朝鮮）戦争後の地域再建の象徴である国際市場に行きました。映画、「国際市場で会いましょう」と見て感じた、韓国現代史を思い起こす機会になりました。

午後には全羅南道の麗水に向かい、壬辰戦争時に大活躍したこと有名な亀甲船（亀の形の軍船）と、その時代の戦争の様子について現地の方から話を聞くことができました。また、夜には海上ローブウェイに乗り、麗水の美しい夜景を堪能しました。

三日目は、ユネスコ世界記録遺産にも登録された、光州5・18事件の展示館と記録館で、当時の軍事独裁政権と民主主義について学びました。その後、全羅南道の木浦に移動して、木浦近代歴史館を見学しました。100年ほど前に建てられた旧



台風の影響も無くなつた9月5日の朝、関西国際空港に集合した中等部3年生の一一行は、韓国の金海国際空港に向けて出発しました。

今回の修学旅行の目的は、韓国と日本、そして在日コリアンにとっての近現代史を学ぶことでした。

釜山に着いた一行は、まず韓国（朝鮮）戦争後の地域再建の象徴である国際市場に行きました。映画、「国際市場で会いましょう」と見て感じた、韓国現代史を思い起こす機会になりました。

午後には全羅南道の麗水に向かい、壬辰戦争時に大活躍したこと有名な亀甲船（亀の形の軍船）と、その時代の戦争の様子について現地の方から話を聞くことができました。また、夜には海上ローブウェイに乗り、麗水の美しい夜景を堪能しました。

三日目は、ユネスコ世界記録遺産にも登録された、光州5・18事件の展示館と記録館で、当時の軍事独裁政権と民主主義について学びました。その後、全羅南道の木浦に移動して、木浦近代歴史館を見学しました。100年ほど前に建てられた旧

日本領事館と東洋拓殖会社の建物がそのまま残つていて、写真や遺物などを、日本帝国主義の植民地時代の歴史を詳しく知ることができました。

四日目は、再び慶尚南道に返ってきました。四日目は、再び慶尚南道に返ってきました。日本帝國主義の植民地時代の歴史を詳しく知ることができました。

金希珠さんの弁論へ呼びかけました。学校生活で自身が経験した人間関係でのトラブルを題材に、努めて笑顔になることの大切さについて話しました。愛と平和のためには笑顔になる努力をすること。身の回りの人間関係だけでなく、国家や民族の対立もお互いが笑顔になることから始めなければならないと呼びかけました。

金希珠さんの弁論へ呼びかけ！

다음은 제 차례입니다. (お祖父さん！次は私の番です。) 저는 오고모님의 유언장을 전하고자 합니다. 저는 사랑과 평화를 위한 우승자입니다. 저는 고모님의 유언장을 전하고자 합니다. 저는 사랑과 평화를 위한 우승자입니다.



## サンシャインコーストとバンクーバーでの11日間の記録

今年も去年に続き、生徒の期待どおりにカナダに行くことができました。生徒が広い世界に旅立つて色々な経験ができるよう支えてください。保護者の方々に感謝しています。

今回の旅の様々なスケジュールの中でも、特に印象的だった3つの活動を紹介したいと思います。一番目は、カナダ現地で出会った人との繋がりです。K I Sの生徒はホストファミリーの家で英語を用いて8日間交流し、互いの文化を学ぶ時間を持ちました。そして、現地の高校で現地の生徒と一緒に一週間授業を受けました。生きた英語を使って人間関係を持つ経験は、生徒の学習モチベーションも向上させたと考えられます。

二番目は現地の小学校と高校で行つた、日本とコリアの文化や伝統的なゲームを紹介した事です。生徒が自主的にテーマを決めて準備し、その内容を英語でシェアしました。準備のプロセスは改善すべきところがありました。公式な場で英語を恐れず自分の思うことを伝えた経験は、生徒にとって貴重な時間だったと思います。そして、1回目の発表から学んだ事柄を適用しながら、2回目、3回目はより質の高い内容になつたことも良かったと思います。

三番目は大自然や歴史を体験した事です。慣れ親しんだ場所から離れて、自然の美しさや歴史の豊かさを感じました。また、現地の文化や習慣を学ぶことで、自分自身の文化に対する理解を深めました。



今年も去年に続き、生徒の期待どおりにカナダに行くことができました。生徒が広い世界に旅立つて色々な経験ができるよう支えてください。保護者の方々に感謝しています。

今回の旅の様々なスケジュールの中でも、特に印象的だった3つの活動を紹介したいと思います。一番目は、カナダ現地で出会った人との繋がりです。K I Sの生徒はホストファミリーの家で英語を用いて8日間交流し、互いの文化を学ぶ時間を持ちました。そして、現地の高校で現地の生徒と一緒に一週間授業を受けました。生きた英語を使って人間関係を持つ経験は、生徒の学習モチベーションも向上させたと考えられます。

二番目は現地の小学校と高校で行つた、日本とコリアの文化や伝統的なゲームを紹介した事です。生徒が自主的にテーマを決めて準備し、その内容を英語でシェアしました。準備のプロセスは改善すべきところがありました。公式な場で英語を恐れず自分の思うことを伝えた経験は、生徒にとって貴重な時間だったと思います。そして、1回目の発表から学んだ事柄を適用しながら、2回目、3回目はより質の高い内容になつたことも良かったと思います。

三番目は大自然や歴史を体験した事です。慣れ親しんだ場所から離れて、自然の美しさや歴史の豊かさを感じました。また、現地の文化や習慣を学ぶことで、自分自身の文化に対する理解を深めました。



## 2016年度卒業生キャンプ

最初に、今回参加した卒業生全員の自己紹介を行い、続いて在校生の自己紹介をしました。その後、ミニゲーム、焼肉などを通して卒業生と在校生が交流しました。その後、暗い室内でキャンドルを開んで話し合いました。これはキャンドルトークと呼ばれ、過去には新入生歓迎会でも行われたことがあります。自分の過去の話、なぜK I Sに来たのか、K I Sに対する思い、これまでの自分についてなど思い思ひ話し合いました。このキャンドルトークを通して、卒業生のK I Sに対する熱い思いを聞くことができ、K I Sの一員として学校生活を頑張ろうと思った在校生も居たことでしよう。

夜は近くにある温泉に入り、寮とK I Sの教室に分かれて一晩過ごしました。翌日もゲームなどを通して交流しました。私自身、卒業生キャラクターを考える良い機会になりました。

日本と関係が深い韓国の色々な地域を周りながら歴史や文化などを学び、また、楽しく遊んだり美味しいものをたくさんや食べ、更には、生徒同士の交流が進んで友情が深まつた有意義な4泊5日でした。

毎年開催されている卒業生キャンプが今年も開催されました。K I Sの卒業生たちが主催し、現在K I SにもチャレンジするK I S生らしい堂々とした弁論でした。

金希珠さんは民族学校部門で最優秀賞を受賞しました。二人とも何事にも元気があり、行事に積極的に関わる生徒が多かつたため、今回もどのように進行するのか楽しみでした。

最初に、今回参加した卒業生全員の自己紹介を行い、続いて在校生の自己紹介をしました。その後、ミニゲーム、焼肉などを通して卒業生と在校生が交流しました。その後、暗い室内でキャンドルを開んで話し合いました。これはキャンドルトークと呼ばれ、過去には新入生歓迎会でも行われたことがあります。自分の過去の話、なぜK I Sに来たのか、K I Sに対する思い、これまでの自分についてなど思い思ひ話し合いました。このキャンドルトークを通して、卒業生のK I Sに対する熱い思いを聞くことができ、K I Sの一員として学校生活を頑張ろうと思った在校生も居たことでしよう。

夜は近くにある温泉に入り、寮とK I Sの教室に分かれて一晩過ごしました。翌日もゲームなどを通して交流しました。私自身、卒業生キャラクターを考える良い機会になりました。

日本と関係が深い韓国の色々な地域を周りながら歴史や文化などを学び、また、楽しく遊んだり美味しいものをたくさんや食べ、更には、生徒同士の交流が進んで友情が深まつた有意義な4泊5日でした。



幼稚園・保育園の園舎設計、老人福祉施設、プール、ホテル等の建築設計

## 株式会社 藤田建築設計事務所



FUJITA ARCHITECT AND ENGINEERING FIRM

大阪本社：〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国1丁目27-1  
TEL (代) (06) 6391-0155 FAX (06) 6391-7733

## (特)コリア教育支援ネットワークはコリア国際学園を応援します!!

未来へ羽ばたく在日コリアンの子供たちに夢と希望を与える教育事業を応援しています

特定非営利活動法人 コリア教育支援ネットワーク 理事長 李 康烈

〒712-8046 岡山県倉敷市福田町古新田804-3  
TEL/FAX 086-456-8568

## Special Amusement PLANNING

スタッフ募集・委細面談

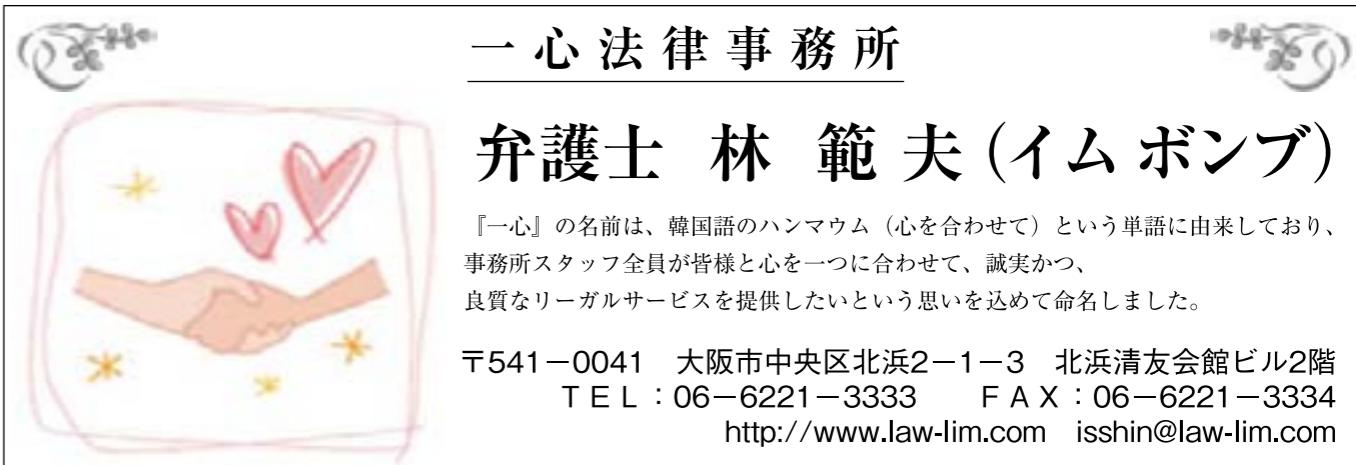
一般社団法人在日韓国商工会議所  
副会長

民団中央本部 元副団長  
東京王仁ライオンズクラブ 元 会長  
東京慶尚南道道民会 常任理事  
在日コリア協議会 副会長  
在日未来志向ネットワーク 副会長  
東京ワンコリアフェスティバル 事務局長

## 株式会社 エスエープランニング

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目5番12号 日本橋MMビル8階  
TEL 03(6214)1111 FAX 03(6214)1600

代表取締役社長 金 淳次



『一心』の名前は、韓国語のハンマウム（心を合わせて）という単語に由来しており、事務所スタッフ全員が皆様と心を一つに合わせて、誠実かつ、良質なリーガルサービスを提供したいという思いを込めて命名しました。

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-1-3 北浜清友会館ビル2階  
TEL : 06-6221-3333 FAX : 06-6221-3334  
<http://www.law-lim.com> [isshin@law-lim.com](mailto:isshin@law-lim.com)



<http://www.arena-world.co.jp/>

株式会社三慶商事 〒339-0008埼玉県さいたま市岩槻区表慈恩寺1497 代表取締役 趙顯洙

TEL 048-794-1266 FAX 048-794-3556

## 株式会社 HOG



<http://www.hog.co.jp/>

## 従業員募集!

会社とともに、仲間とともに、地域とともに、育って欲しい。  
それが、私たちの願いです。<詳しい募集要項はホームページをご覧ください>

代表取締役社長 安田庸秀

〒540-0024 大阪市中央区南新町1丁目2番4号 椿本ビル3階 TEL. 06-6809-7773

## 有限会社エクスト

〒167-0033

東京都杉並区清水1-10-2-503

## 株式会社 青山

代表取締役 李英哲

〒653-0039  
神戸市長田区日吉町4丁目3-9 AOYAMAビル4F  
TEL 078-691-6555 FAX 078-691-2333  
E-Mail: [dutetsu@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:dutetsu@skyblue.ocn.ne.jp)

不動産有効利用・賃貸・管理 遊技場・ビジネスホテル経営



株式会社AINZ 代表取締役 平田健一

本社：門真市栄町6番1号 Aインズ門真店2F

TEL (06)6780-4157 FAX (06)6780-4158 E-mail:hirata-f@mx1.alpha-web.ne.jp

学校法人 瓜生山学園

## 京都造形芸術大学

606 8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

Telephone 0120 591 200

E-mail nyugaku@office.kyoto-art.ac.jp



京都造形芸術大学

<http://www.kyoto-art.ac.jp/>



〒530-0014

大阪市北区鶴野町4番地

コーフ野村梅田A棟311号

TEL 06-6377-5477

FAX 06-6377-5477

CREATE SUPPORT



株式会社エイジエム

〒651-0031 神戸市中央区東町 116 番地 神戸パークサイドビル 7F

TEL 078-325-0466 FAX 078(393)0830



## 朝潮水産株式会社

〒415-0016 静岡県下田市中472-1

TEL 0558-23-0819 FAX 0558-23-0829

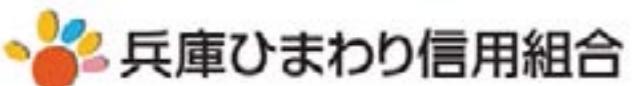
✉ asashiosuisan@asashio.jp

WEB. <http://www.asashio.jp>

パチンコ&スロット  
ネバーランド

八戸・南類家店

沼館店



〒653-0481

兵庫県神戸市長田区松野通1丁目3番2号

TEL 078-631-7751 FAX 078-631-7776

KOUKEN 株式会社 貢獻

遊技機総合商社 日本ゲームカード特約店

代表取締役 城山 悟

〒110-0015

東京都台東区東上野2-14-1 江口ビル501

TEL:03-3831-2655 FAX:03-3831-2656

E-mail:shiroyama-s@kouken.bz



社団法人 兵庫商工共同組合 吳税理士事務所

代表理事・税理士

吳 幸哲  
OH HAENGCHUL

〒650-0031 神戸市中央区東町116番地 神戸パークサイドビル4階

TEL : 078-393-3056 FAX: 078-393-3057

KISの

# オープンスクール & 入試日程

英語  
授業

2016年9月3日(土)

10月15日(土) 11月12日(土)

コリア語  
授業

2016年10月29日(土)

11月19日(土) 12月3日(土)

- ◆ 時間：10:00～12:30
- ◆ 内容：授業参観・学園説明会・学校見学
- ◆ 対象：小学生4～6年生／中学生1～3年生／保護者
- ◆ 会場：コリア国際学園

## 入学試験 日 程

- ◆ 第1次推薦入学試験 2016年12月17日(土)
- ◆ 第2次推薦入学試験 2017年1月22日(日)
- ◆ 一般入学試験 2017年2月12日(日)
- ◆ 第2次入学試験 2017年3月22日(水) \*高等部のみ

\*2017年度入学に関わることは、入試広報部までお気軽にお問い合わせください。

TEL:072-643-4200 FAX:072-643-4401 E-Mail:contact-school@kis-korea.org

## ◆ コリア国際学園 2015年度卒業生 大学合格実績

<日本>

大学名	学部名	合格者数
立命館大学 (リョーメイ칸대학)	国際関係学部 (국제관계학부)	1
	法學部 (법학부)	1
立命館アジア太平洋大学 (リョーメイカンアシア태평양대학)	国際経営学部 (국제경영학부)	2
	アジア太平洋学部 (아시아태평양학부)	1
京都精華大学 (교토 세이カ대학)	ポピュラーカルチャーラー学部 (대중문화학부)	1
慶應大学 (ケイオ大学)	法學部 (법학부)	1
明治大学 (メイジ大学)	商学部 (상학부)	1
同志社大学 (도시샤대학)	グローバルコミュニケーション学部 (글로벌커뮤니케이션학부)	1
	商学部 (상학부)	1
	政策学部 (정책학부)	1
摂南大学 (세츠난대학)	経営学部 (경영학부)	1
	経済学部 (경제학부)	1
横浜市立大学 (요코하마시립대학)	国際総合科学部 (국제종합과학부)	1
大阪市立大学 (오사카시립대학)	法學部 (법학부)	1
神戸学院大学 (고베카쿠인대학)	経営学部 (경영학부)	1

<韓国>

大学名	学部名	合格者数
高麗大学 (고려 대)	中語中文学科 (중어중문학과)	1
	国語国文学科 (국어국문학과)	<1>
延世大学 (연세 대)	グローバル人材学部 (글로벌인재학부)	2
	演劇映画科 (연극영화과)	1
成均館大学 (성균관 대)	中文学科 (중문학과)	1
	新聞放送学科 (신문방송학과)	1
中央大学 (중앙 대)	メディアコミュニケーション学部 (미디어커뮤니케이션학부)	1
	社会福祉科 (사회복지과)	1
慶熙大学 (경희 대)	言論情報学科 (언론정보학과)	1
弘益大学 (홍익 대)	繊維美術ファッショントザイン学部 (섬유미술패션디자인학부)	1
西江大学 (서강 대)	コミュニケーション学部 (커뮤니케이션학부)	1

<既卒>